

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 哲也
幹事 久米 博明
会報委員長 鬼頭 一浩

2016 ~ 2017年度 国際ロータリー ジョン F. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2942回例会プログラム

[当年度=10回目；当月=4週目]

2016年（平成28年）9月26日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(10/3) ……

卓話

講師 落語家 春雨や軍手 様

(紹介者 新海 伸二 会員)

(10/10)

休会 (法定休日)

2. クラブフォーラム……………〈社会奉仕委員会〉

13:00 卓話 「東日本大震災教育復興支援報告」

講師 愛知教育大学学生

名淵 裕 様 浜野 可菜 様
水野 愛子 様 桑山奈々香 様

(紹介者 市川 裕大 会員)

13. 謝辞
14. 点鐘……〈会長〉
15. 閉会宣言
13:30 16. 散会

出席

会員総数 93名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 75名
欠席 6名 出席率 92.59%
前々回(9/7)の修正出席率 100%

ゲスト

米山奨学生 サエズ・アニー・アラナ さん
新入会員予定者 池田 直樹 様

会長報告

- 1) 9月15日、東名古屋カントリークラブにて、9月ゴルフ例会を開催致しました。グロス79ネット73にて盛田豊一会員が優勝されました。同時開催の寿杯は池田憲司会員が優勝されました。
2) 米山奨学生、アニーサエズさんにお渡し致します。



幹事報告

- 1) 本日例会終了後、事務局にて理事会を開催致します。ご関係者のご出席をお願い致します。
2) ワールドフード・ふれ愛フェスタのチケットをメールボックスに配布させて頂きます。ご確認お願い致します。

落語「崇徳院」

加藤 哲也



若旦那が重い病気。心の病だから薬よりも理由を尋ねるが先決というのが医者に見立て。だが、内気な性格でいっこうに口を開かない。そのうち、熊になら話してもいいと言うので、熊が呼ばれてきた。

「若旦那。どこが悪いんです」

じつは恋患い。上野の観音様へお参りにいったとき、どこかの金持ちの娘らしい女性にひと目惚れしたというのだ。

茶店で休んでいたら、供の女中を連れて娘が前へ腰をおろした。これがすごい美人。帰り際にふくさを落としたので、拾ってやるとかわりに短冊に何かを書いて置いていった。

見ると「瀬をはやみ岩にせかる滝川の」という崇徳院の上の句が。下の句は「われても末に逢はむとぞ思ふ。」つまり、娘のほうも若旦那にひと目惚れしたといたこと。

以来、娘を思い、食べ物も喉を通らないという。

熊から話を聞いた旦那は、その娘をなんとか探してくれないかと頼んだ。手がかりは崇徳院の歌だけ。雲をつかむような話だが、もしも見つけてくれたら三軒長屋をお前にやると言われ、思わずひき受けてしまった。

「うまくいけば大家になれるねえ」

女房もすっかりその気で熊の尻をたたき、その日から娘探しが始まった。

一日、二日、三日。弁当持ちで江戸を歩き回るが、簡単にみつかるわけがない。人が集まっているところへいっては、大声で歌を詠むから子供が紙芝居と勘違いしてついてくる始末。熊は一計を案じ、混んでいる床屋と湯屋を集中的に回ることにした。どちらも手がかりをつかむにはもってこいの場所だ。

湯に入り、床屋で髭を剃ってもらい、また湯へ、また床屋へ。熊はもうクタクタのへろへろ。何十軒目かの床屋へ転がり込み、

「ちょっと休ませてもらいます」

奥で横になっていると、その店のなじみ客らしい男がやってきて、床屋の親方と話しはじめた。男は鳶の頭で、しばらく店にこなかった理由を大声でしゃべっている。

「お店のお嬢さんが恋患いで、相手の男を探しているんだ。難しい歌だけが手がかりで」

熊はガバッと起き上がり、鳶の頭の胸ぐらを

「三軒長屋だ」

頭もパッと合点がいき、

「おう、お前をお店へ」

まるで取っ組みあいようになり、床屋の鏡がガチャン。床屋の親方があわてて、

「ああっ、鏡が」

「割れての末に買わんとぞ思う」

卓話「東日本大震災教育復興支援報告」

講師 愛知教育大学学生

名淵 裕 様 浜野 可菜 様

水野 愛子 様 桑山奈々香 様



私たちは宮城県で、学習支援ボランティアを5日間行いました。その際、私たちの目で見、感じ、学んだことは主に3つあります。

1つ目は、学習支援とは何かについてです。子どもたちには「旧閑上中学校は津波で流され、仮設校舎となっている環境」があります。たくさんの物理的、精神的配慮、小学校時代に得られなかった基礎的な知識の欠如による学力の低下等、震災の影響を痛感しました。学習支援は一見、愛知でも出来ることに思えます。しかし、今回の学習支援で得たものは、宮城でしか得られない生の感動がありました。そして、私たちの中に、「宮城県の教員になりたい」と夢をもつ人もいたぐらいでした。

2つ目は、閑上中学校長の方が閑上地区を案内して下さったことについてです。地震による大きな揺れ、津波が引き起こした未曾有の大災害。あれから5年が経ちました。未だ更地になっている景色が広がり、復興が道半ばであることを肌で感じました。また、津波の威力を後世に伝える建物、被災者の方が残した力強いメッセージ等から、一人でも多くの命を救うための術を私たちは体得できました。

3つ目は、岩沼市役所の取り組みについてです。私たちは、「市の方々は何を考え、どう取り組みをされてきたのか」を知りたいと思い、岩沼市役所の職員の方々に直接お話を伺いました。スピードを重視とした素早い対応、地区単位で行ったコミュニティの維持、多重防壁や千年希望の丘による安全の確保、地元へ愛着をもたせ、住民と共に行ったまちづくり等、幅広い視点から市の復興に携わる取り組みを聞くことが出来ました。

32万1千人。これは南海トラフ巨大地震が起こったときに想定される死者行方不明者数です。「これからは不慮の事態に一人でも多くの命を救う発信者として生きていきたい。」そう思わせてくれたこの度の経験は大変有意義な時間となりました。刈谷ロータリークラブの皆さん、本当にありがとうございました。

9 月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成28年 9 月15日(休)

於：東名古屋カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	盛田 豊一	79	6	73
2 位	杉山 欣輝	91	15	76
3 位	加藤 英樹	85	8	77
B B	嶋津 孝久	112	15	97



寿 杯

成績	氏名	G	H	N
優勝	池田 憲司	112	32	80
2 位	室殿 豊	98	18	80
3 位	塚本 幸夫	93	12	81



第 4 回 理 事 会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
 - 1. 10月・11月のプログラム(案)について
 - 〈クラブ奉仕委員長〉
 - 〈プログラム委員長〉
 - 2. 新入会員について 〈幹事〉
 - 3. 学校訪問コンサートについて
 - 〈社会奉仕委員長〉
 - 4. 第10回刈谷音楽協会演奏会後援名義使用について
 - 〈社会奉仕委員長〉
 - 5. 出席規定適用免除の申請について 〈幹事〉
 - 6. その他
- III 会場監督の所見